

# 目標の進捗状況報告書

(2013年度・大学)

担当部局は   ☆印の箇所を記入してください。

## I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	社会学研究科
大項目	6 教育内容・方法・成果 (研究科)
中項目	6.2 教育課程・教育内容
小項目	6.2.1 教育課程の編成・実施方針に基づき、授業科目を適切に開設し、教育課程を体系的に編成しているか。
要素	必要な授業科目の開設状況 順次性のある授業科目の体系的配置 専門教育・教養教育の位置づけ (学部) - コースワークとリサーチワークのバランス (院)
小項目	6.2.2 教育課程の編成・実施方針に基づき、各課程に相応しい教育内容を提供しているか。
要素	学士課程教育に相応しい教育内容の提供 (学部) - 初年次教育・高大連携に配慮した教育内容 (学部) - 専門分野の高度化に対応した教育内容の提供 (院) 理論と実務との架橋を図る教育内容の提供 (専院)

## II. 目標の進捗状況評価と進捗状況報告(2013.4.30現在の進捗状況報告)

### 《進捗状況評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。進捗状況評価はA、B、C、Dの4段階とし、2013年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。  
 B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。  
 C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。  
 D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 体系化されたカリキュラムに対応した専門領域担当者の配置と履修指導の徹底	→学生の履修状況(偏在の有無)、不開講科目数、履修指導の有無、カリキュラムマップの作成	B	B	B	B	/
2. ソシオリテラシー涵養のコースワークプログラムの確立	→コースワークプログラムの整備の周知・公表の有無	A	B	B	A	/
3. 英語クラスにおける能力別クラスの設置	→英語の能力別クラスの実施・履修の有無	A	B	B	B	/

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→	/	/	/	/	/
	→	/	/	/	/	/

### 《進捗状況》 ☆

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	前期課程社会学専攻アカデミックコースにおいては、特定の領域・方法に偏ることなく社会的、社会心理学的発想の基礎を幅広く修得するための科目群を設け、専門社会調査士コースにおいては、社会調査の技能と分析能力を修得するため、各科目の順次性に配慮して配置している。
目標2	「先端社会講義A/B」「先端社会研究A/B」に分け、前者を前期課程、後者を後期課程の科目として開講している。なお、Aはソシオリテラシー涵養のベーシック科目として、Bはアドバンスト科目として順次性を持たせている。また、「先端社会講義J」では、「大学院生が行う研究に関する助言やサポート」および「研究成果発表会のコーディネート」を行っている。
目標3	大学院生の英語能力に応じたクラスを設置し英語論文の購読を目的とした「社会学文献講読」を開講している。また、「先端社会講義J」の「大学院生が行う研究に関する助言」のなかで「英語でのプレゼンテーション」の指導を行っている。
備考	